

■第19回フィールドワークショップ「ヨシ・スゲ湿原に潜む“ヤチマナコ”や“伏流水”をさがそう!」の開催について

・平成29年8月8日8:30～15:00
温根内右岸堤防付近の湿原にて開催

■くしろエコ・フェア2017について

・平成29年6月24日10:00～16:00 まなぼつとにて開催
・主催 くしろエコ・フェア実行委員会

■「武佐の森へようこそ」くしろエコ・フェア 協賛散策会について

・平成29年6月25日10:00～12:00 武佐の森にて開催
・講師 大西 英一氏

■釧路湿原国立公園指定30周年記念シンポジウムについて

・平成29年7月31日開催
・新庄久志氏(再生普及小委員会副委員長)による記念公演「地域の人々と釧路湿原のあゆみ」
・中村太士氏(釧路湿原自然再生協議会会長)をコーディネーターとしたパネルディスカッション「未来につなぐ国立公園」
・主催 釧路湿原国立公園指定30周年記念事業実行委員会(釧路市、釧路町、標茶町、鶴居村)、環境省



第29回 再生普及小委員会 出席者名簿(敬称略、五十音順)

個人[4名]

- 神戸 忠勝 ●君塚 孝一 [(有)自然文化創舎]
- 清水 信彦 ●高橋 忠一

関係行政機関[6機関]

- 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 [治水課長/石澤 肇]
- 環境省 釧路自然環境事務所 [所長/安田 直人]
- 林野庁 北海道森林管理局 [釧路湿原森林ふれあい推進センター所長/志村 賢二]
- 北海道 釧路総合振興局 [保健環境部環境生活課自然環境係 主事/道場 航大]
- 北海道教育庁 釧路教育局 [教育支援課社会教育指導班 主査/柴田 快憲]
- 釧路市 [市民環境部 環境保全課 主査/浅利 宏史]

資料の公開方法

委員会で使用した資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページにて公開しています。
http://www.ks.hkd.mlit.go.jp/kasen/kushiro_wetland/index.html

釧路湿原自然再生協議会運営事務局
[TEL]0154-23-1353 [FAX]0154-24-6839

団体[9団体]

- 釧路国際ウェットランドセンター [事務局長/菊地 義勝]
- 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会[芳賀 孝朋]
- 釧路武佐の森の会 [会長/大西 英一]
- 公益財団法人北海道環境財団 [事務局次長/久保田 学]
- こどもエコクラブくしろ [近藤 一燈美]
- 特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所 [渡會 敏明]
- 特定非営利活動法人 くしろ・わっと [事務局長/成ヶ澤 茂]
- 特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ [井上 雅子]
- 特定非営利活動法人 トラストサルン釧路 [理事長/黒澤 信道]

ご意見募集

釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています。
電話・FAXにて事務局まで御連絡下さい。

釧路湿原自然再生協議会

再生普及小委員会 ニュースレター

編集・発行：釧路湿原自然再生協議会 運営事務局

平成29年6月15日(木)「第29回 再生普及小委員会」が釧路地方合同庁舎5階第1会議室で開催されました。

開催概要

「第29回再生普及小委員会」が平成29年6月15日(木)釧路地方合同庁舎5階第1会議室で開催されました。小委員会には個人4名、団体9団体、関係行政機関6機関が出席しました。今回は、再生普及小委員会の活動について及び自然再生の普及のためのパンフレットの活用についての意見交換が行われました。



「洪水の後を訪ねて」～ケネチャラシベツ川踏査～ (第18回フィールドワークショップ)2017年2月11日

Discussion about Regeneration of Kushiro Marsh



このようなことが話し合われました。

再生普及小委員会の活動について

事務局より再生普及小委員会の活動について報告が行われ、ワンダグリンド・プロジェクトの推進について、再生普及推進のための連携チーム会合について、学校支援ワーキンググループの取組みについての報告がなされた。

① 再生普及行動計画オフィス取組みについて

- 「ワンダグリンド・プロジェクト2016」活動報告書の作成
・2016年度に参加した60団体・個人/81取組み(協議会含む)の活動報告書を作成
- 「ワンダグリンド・プロジェクト2016」参加者への活動支援
・イベント、パネル展での活動紹介 ・メールニュースでの活動情報発信
・活動の場の提供、イベント等での支援
- 「ワンダグリンド・プロジェクト2017」募集
・チラシ、ポスターの配布 ・WEBページ等での広報
- フィールドワークショップの実施(平成29年2月11日)
・第18回「洪水の後を訪ねて」～ケネチャラシベツ川踏査～
- WEBサイトの運営 ●メールニュースの配信、掲示
- イベント出展による情報発信等
- 現場見学会など市民参加イベント(予定)について
・市民参加のイベントの取りまとめ

「ワンダグリンド・プロジェクト2017」応募状況

- ・総数:60団体(個人) 81取組み(協議会含む)
- ・広報支援施設:9施設



「洪水の後を訪ねて」～ケネチャラシベツ川踏査～ (第18回フィールドワークショップ)2017年2月11日



シルバーシティときわ台ヒルズ「釧路湿原自然再生パネル展」～ワンダグリンド活動紹介 2017年2月1日～2月28日



② 再生普及推進のための連携チーム会合について

- 再生普及推進のための連携チーム会合の開催
 - ・第5回再生普及推進のための連携チーム会合の開催
 - ・開催日時:平成29年5月18日 参加者:15名

議題1 再生普及推進のための連携チーム設置要綱の見直しについて

- ・連携強化のため、構成員を各少委員会事務局から自然再生協議会事務局全体とした。
- ・2016年度以降に着手予定の課題を正式な取組み課題として位置づける。

議題2 環境教育の取組み及び自然再生の参加機会づくりについて

- ・各小委員会で実施予定のイベント等の情報共有と意見交換を行った。

議題3 自然再生の普及のためのパンフレットの活用について

- ・パンフレット「湿原とともに暮らす未来の子どもたちのために」についての意見交換を行った。
- ・パンフレットの活用実績把握のため、イベント等で使用した場合は事務局へ報告することとした。

③ 学校支援ワーキンググループの取組について

取組み課題1 「湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進」

- ・ウェブサイト(<http://kushiro-ee.jp/>)に「フィールド情報マップ」を作成し、釧路湿原流域においてフィールド学習が可能な場所や実践例を紹介。今後も実践例をフィールド情報マップに追加していく。

取組み課題2 「自然再生の学校教育への活用促進」

- ・今年度は達古武地区を中心とした実践支援や教員研修等を実施予定。
- ・自然再生事業地を活用した実践コーディネートを行う予定。
- ・新たな実践づくりに向けた意見交換、調整を実施。

取組み課題3 「学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及」

- ・教員研修講座の企画。(6/8温根内、8/30キラコタン)
- ・発表の場作り、学びのプロセス支援を実施。
- ・WEBサイトへの情報掲載、取組み周知のためのチラシ配布等の実施。



www.kushiro-ee.jp

きづく わかる まもる 釧路湿原

検索

「釧路湿原を題材とした学習資料」→フィールド情報マップ

自然再生の普及のためのパンフレットの活用について

事務局より自然再生普及のためのパンフレットの活用について説明がなされた。

●自然再生パンフレットの活用について

- パンフレット及びPDFデータの配布
 - ・初版印刷予定部数は1,000部
 - ・在庫切れ、部分使用の場合はPDFデータから印刷して使用してほしい
- パンフレットの活用方法について
 - ・現地見学会、学校教育等の説明資料として使用することを想定
 - ・陳列配布はしない
 - ・WEBからのダウンロードが可能となるよう対応予定
- 修正について
 - ・内容の不備、更新等があれば随時修正
 - ・使用の際、最新版を要確認
- 活用実績の報告について
 - ・使用にあたっては事務局へ報告
 - ・毎年度の活用実績を取りまとめ、再生普及小委員会で報告



会議開催状況 2017年6月15日



会議開催状況 2017年6月15日

パンフレットの活用についてこのようなことが話し合われました。(詳しくはホームページをご覧ください)

- 発行部数が1,000部というのは少な過ぎるのではないか。
- 少し将来も考えて発行した方が良いということか。
- 予算の関係によるものなのか。
- このパンフレットのダイジェスト版があればありがたい。
- ラックに置いて自由に取っていただくような配布の仕方は考えておらず、自然再生の現場見学会等の参加者に配布することを想定。更新の可能性もあるため、最小限の発行部数にしたい。プリンターで印刷しても使えるように配慮した構成にしている。
- ダイジェスト版は今後検討したい。類似のものに全体構想概要版がある。
- 本州からたくさんの方が来る。そのため我々の団体ではその学生に配るために5,000部から10,000部を作成している。この地域だけの問題ではないような気がする。

委員長 委員 事務局